

みどりと花につつまれた安全・安心な都市づくり

計画概要

◆計画期間 平成 24 年度 ~ 平成 28 年度

◆計画の目標

市民が自然とふれあう場所の提供が重要であるとの認識のもと、緑のネットワークが形成された「緑あふれる快適都市」の実現に向けて安全・安心な都市公園や緑地の一体的な整備を目指す。また、公園施設長寿命化計画に基づき適切に維持管理されている公園施設の改築を実施し、公園利用者の安全・安心の確保や公園施設に係るトータルコストの低減を図ることを目指す。

◆計画の成果目標(定量的指標)

指標①: 市民一人当たり公園面積

指標②: まちの公園・街路樹などに満足している市民の割合

指標③: 公園長寿命化計画が策定されている公園数の割合

指標④: 老朽化した施設の改修が行なわれた公園数の割合

評価内容

◆交付対象事業の進捗状況

交付対象事業	事業費※	事業の実施状況	進捗率※
A 公園事業	961百万円	<ul style="list-style-type: none"> ・緑陽公園・廻間公園(1期)の用地取得率 約97%、整備完了(供用開始)面積率 約92% ・公園施設長寿命化計画が策定された公園数 61公園 ・老朽化した施設の改修が行われた公園数 4公園 	97%
B 関連社会資本整備事業	0百万円		%
C 効果促進事業	174百万円	<ul style="list-style-type: none"> ・緑陽公園・廻間公園調査測量設計事業完了 ・老朽化した公園施設の改築、バリアフリー化等が実施された公園数 3公園 ・都市公園事業と一体的に、緑のネットワーク化や防災性の向上を図る緑の基本計画の改訂完了 	100%
合計	1,135百万円		

※事業費は実績額

※進捗率(%)は各事業の計画に対する実施割合

◆事業効果の発現状況、目標値の達成状況

定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況 (別紙1)

別紙1参照

Ⅱ 定量的指標の達成状況

指標①(市民一人当たり公園面積)

最終目標値	11.12㎡/人	目標値と実績値に差が出た要因	緑陽公園・廻間公園及びその他の新設公園の整備完了により、目標としていた公園面積を達成しているが、想定以上の人口増により、最終目標値に達しなかったもの。
最終実績値	10.86㎡/人		

指標②(まちな公園・街路樹などに満足している市民の割合)

最終目標値	68.0%	目標値と実績値に差が出た要因	都市公園事業による新規公園の供用開始と、老朽化した公園施設の改修を計画通りに実施したことにより、目標以上の市民満足を得ることができたと思われるもの。
最終実績値	69.8%		

指標③(公園施設長寿命化計画が策定された公園数の割合)

最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	公園施設長寿命化計画を策定したことにより、安全安心の確保とトータルコストの低減に寄与と思われるもの。 実施公園数/全体公園数 61公園/61公園
最終実績値	100.0%		

指標④(老朽化した施設の改修が行なわれた公園数の割合)

最終目標値	6.6%	目標値と実績値に差が出た要因	老朽化した施設の改修を計画通り実施したことにより、安全安心の確保と市民満足度の向上に寄与したと思われるもの。 実施公園数/全体公園数 4公園/61公園
最終実績値	6.6%		

定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)

都市公園事業による緑陽公園・廻間公園の新設等により、緑のネットワークが形成された「緑あふれる快適都市」の実現に寄与するとともに、公園施設長寿命化計画の策定と老朽化した公園施設の計画的な改修の実施により、安全安心の確保と既存ストックの活性化が図られ、これまでの市の積極的な取り組みが、市民の満足度向上を促進するとともに、市外部からも評価され、「第36回緑の都市賞(みどりのまちづくり部門)」において「国土交通大臣賞」を受賞した。

◆今後の方針

指標①(市民一人当たり公園面積)

- ・都市公園事業(緑陽公園・廻間公園)については、次期計画にて、第2期区域に着手し、防災拠点としても機能する緑あふれる都市公園の整備を推進し、市民一人当たり公園面積の増加に寄与する。

指標②(まちの公園・街路樹などに満足している市民の割合)

- ・未整備公園の事業進捗を図るとともに、既存公園施設の老朽化対策やバリアフリー化などの事業推進により、市民満足度の向上を目指す。

指標③(公園施設長寿命化計画が策定された公園数の割合)

- ・公園施設長寿命化計画の定期的な更新を行い、公園施設の安全・安心の確保とトータルコストの低減を目指す。

指標④(老朽化した施設の改修が行なわれた公園数の割合)

- ・公園施設長寿命化計画に沿った公園施設の改修や長寿命化対策を次期計画に位置づけ、計画的な実施に努める。

◆事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	東海市 都市建設部 花と緑の推進課
事後評価の実施時期	平成29年11月
公表の方法	ホームページ掲載

参考資料

◆定量的指標

成果目標	当初現況値	中間目標値	最終目標値
市民一人当たり公園面積	9.50m ² /人	9.50m ² /人	11.12m ² /人
まちの公園・街路樹などに満足している市民の割合	59.9%	65.0%	68.0%
公園施設長寿命化計画が策定された公園数の割合	0.0%	100.0%	100.0%
老朽化した施設の改修が行なわれた公園数の割合	0.0%	4.9%	6.6%

参考図面

■基幹事業

1-A-3 公園施設長寿命化計画策定事業
(東海市) (市内61公園)

■基幹事業

1-A-4 東海市安全安心事業
(市内3公園)

■基幹事業

1-A-5 東海市公園施設長寿命化対策支援
事業 (市内3公園)

■基幹事業

1-A-2 都市公園事業(廻間公園)

■基幹事業

1-A-1 都市公園事業(緑陽公園)

□効果促進事業

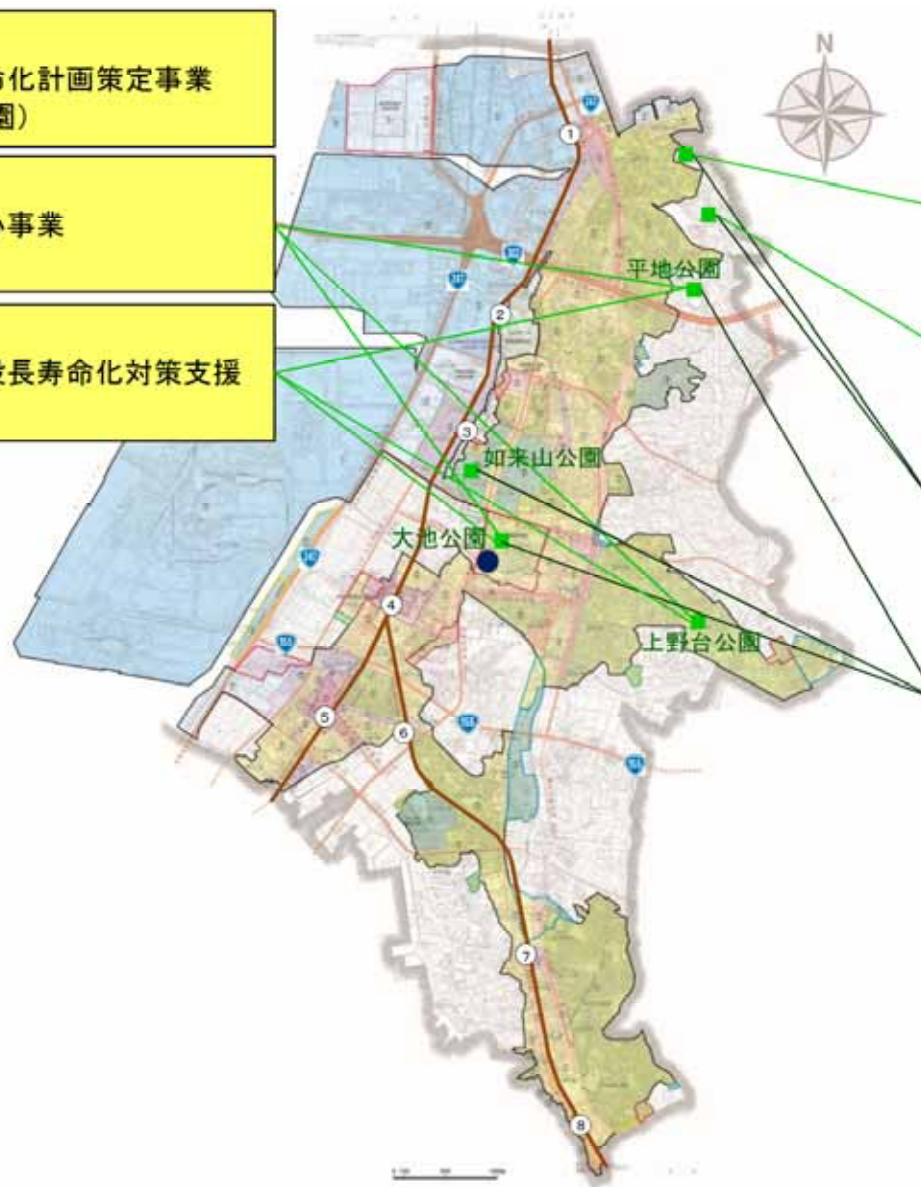
1-C-1 緑陽公園・廻間公園調査測
量設計事業

□効果促進事業

1-C-2 東海市安全安心事業(効果
促進) (市内3公園)

□効果促進事業

1-C-3 公園事業特定計画調査(東
海市緑の基本計画改訂)



名古屋鉄道市内各駅

①	名和駅	⑤	尾張横須賀駅
②	聚楽園駅	⑥	高橋須賀駅
③	新日鉄駅	⑦	南加木屋駅
④	太田川駅	⑧	八幡新田駅

【基幹事業】

- 事業名 都市公園事業
(緑陽公園)
- 工事概要 用地取得、園路広場、遊戯施設
A=0.8ha
- 事業箇所 東海市名和町中大廻間始め2地内
- 事業主体 東海市
- 事業効果 安全・安心な都市公園の整備により、緑のネットワークが形成された「緑あふれる快適都市」の実現と、市民一人当たり公園面積の増加に寄与した。



整備後



整備前



【基幹事業】

- 事業名 東海市公園施設長寿命化
対策支援事業
(上野台公園遊具改修)
- 事業概要 複合遊具の更新 1基
- 事業箇所 東海市富木島町山田地内
- 事業主体 東海市
- 事業効果 老朽化した木製複合遊具を更新することで、公園利用者の安全・安心を確保し、既存公園の活性化を図り、市民満足度の向上に寄与した。



整備後



整備前

